

第 79 回接続料の算定等に関する研究会の議論を踏まえた
株式会社インターネットイニシアティブへの追加質問及び回答
(移動通信分野における接続料等と利用者料金の関係の検証関係)

問 スタックテストにおいて対象となるMNOのサービス等とMVNOのサービス等における、サービスクオリティ（輻輳状況）の差について、スタックテストにおいて、既に考慮されているという説明に対して、どのように理解していますか。理解が不十分であれば、どのような情報を得ることで、理解が得られると思いますか。

(佐藤構成員)

(インターネットイニシアティブ回答)

- 災害対策等により POI を複数冗長している MVNO は、災害等で POI が障害となった場合の迂回（冗長分）を考慮し MNO から多めに帯域を調達する必要があり、その分の接続料が提供サービスの原価に加算されております。一方、モバイル・スタックテストにて用いられる「データ伝送役務に係る接続料相当額」では、検証対象プランの最繁忙トラフィックに対して接続料が乗じられているのみであり、MNO の冗長系の設備コストがどのように積算されているかが明らかではない状況であるものと認識しております。モバイル・スタックテストにおいて MNO と MVNO の同等性を検証する際は、「MNO による検証対象プランの運用に係るネットワーク設備」と「MVNO の L2 接続のネットワーク設備」の違いを踏まえ、冗長系に関する設備コストを適切に計上すること（例えば、MNO が検証対象サービスにおいて地理的な冗長設備を構築している場合、当該冗長設備のコストについては運用系・待機系の区別なく全て設備容量に計上すること等）により MNO と MVNO の通信品質差が十分考慮され、納得感がある検証となることを要望いたします。